事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	旧火葬場除却事業				②事業番号	3205	
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	令和 2 年度	⑤終了予定年度	令和 4 年度 設定なし
⑥根拠法令等	☐ 法令	☐ 条例	☐ 規則	要綱	計画等	その他 法令等の名称 建設業法等	
⑦実施手法	直営	☐ 全部委託	☐ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	4	項	1	目	7	細目 3
⑨担当部名	市民生活環境部			⑩担当課名	環境整備課		
				会計	一般会計		

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 墓地利用者	① 除却対象施設	施設
② 施設がある周辺住民等	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
令和元年4月1日より泉南阪南共立火葬場が供用開始されたことに伴い、旧火葬場(樽井火葬場・西信達火葬場：平成31年3月末で廃止)の除却工事を行うものである。樽井旧火葬場においては地元協議の結果を踏まえ、既設ブロック塀の改修及び照明の改修工事を行い、西信達旧火葬場においては地元協議を進めるための地中調査を行う。また、両施設ともダイオキシン類及びアスベスト調査委託業務を先行し、その結果をもって実施設計業務を完成させ、令和3年度中に樽井旧火葬場の除却、西信達旧火葬場については令和4年度中にブロック塀の改修などの周辺整備と除却工事を実施する。	① 除却施設	施設
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
旧火葬場両施設ともに令和元年4月の新火葬場の供用開始後、廃止された施設であり、近年の大型台風の襲来や大地震などの災害によって倒壊・崩落の危険性があり、墓地利用者や周辺住民等に対して危険が及ばないよう安全を確保する。	① 除却率	%
	計算式 除却数 / 除却対象施設 × 100	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
墓地利用者や周辺住民に対して安全を確保することができる。	政策(章) 5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
	施策大(節) 2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします	
	施策中 8 火葬場の整備	
	施策小 1 新火葬場の建設	

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標① 除却対象施設	施設			2	2	2	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②							
活動指標① 除却施設	施設			0	1	2	R2年度については、実施設計のみで、除却は行っていないため、成果指標は0となる。
活動指標②							
活動指標③							
成果指標① 除却率	%			0	50	100	
成果指標②							
成果指標③							
事業費	投入人員	人		0.02	0.02		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人		0.00	0.00		
	任期付職員	人		0.00	0.00		
	臨時職員	人		0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員 * 単価)	千円		153	153		R3年度は1施設を除却予定のため、直接事業費が増加となる。除却事業としてはR4年度も続けて施工したいところではあるが市全体の計画によっては延期する可能性がある。
	直接事業費	千円		14,440	39,000		
	総事業費	千円		14,593	39,153		
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0		
	府支出金	千円		0	0		
	受益者負担金	千円		0	0		
	その他特定財源	千円		4,800	34,200		
一般財源	千円			9,793	4,953		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市内の2火葬場の老朽化に伴い、阪南市と共立で新火葬場を建設、平成31年4月から運用を開始した。それに伴い旧火葬場を除却することとなる。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	地球温暖化の影響などで台風の大型化や大地震によって施設が倒壊・崩落するなどの災害に見舞われる可能性が高まっている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	-

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	旧火葬場は新火葬場が供用されると同時に除却することが理想であるが、除却後の周辺整備などの課題もあり、それについては関係先との協議も進んでおり、近隣市町と比較してやや遅れてはいるが施設の規模を考慮すると概ね適正である。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	樽井旧火葬場については予定通りの工程で概ね成果を上げている。 また、西信達旧火葬場についても問題を整理し、関係先との協議を進めている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	—
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし ウイ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	関係先との協議の中で除却後の整備について可能な限りのコスト削減に協力を求め理解を得ている。
--	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	R2年度については、実施設計を行い除却に向け取り組みすることができた。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性> 	
<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—